

## 医療分野でのICT活用の推進

お盆休みに入り、故郷や観光地に向かう高速道路は大変な混みようとなっていました。都心の道路は渋滞もなくスムーズに流れています。

平和安全法制等の審議が続く延長国会もお盆の小休止となっていますが、私は、8月4日午前の参議院文教科学委員会に出席した後、夕刻の便でインドのデリーに向かい、日インド科学技術協力協定締結30周年の国際セミナーへの出席、日インド科学技術協力に関する関係閣僚との協議やインド在住日本人留学生との懇談などを終え9日早朝に帰国しました。今週末は、明治神宮野球場での第62回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会の開会式、日本武道館での戦没者追悼式に出席、その足で「こうのとりの5号」の打上が行われる鹿児島県種子島へと向かいます。

さて6月末に閣議決定された「日本再興戦略改訂2015」、我が国の経済情勢はアベノミクスの効果により、安倍政権がスタートした2年半前に比べて確実に改善してきているものの、こうした経済の好循環を維持し持続的な成長路線を辿っていくためには、効果的な投資による生産性の向上が鍵となるとして、未来投資による生産性の革命とローカル・アベノミクスの推進を大きな柱とする、アベノミクスの第二ステージと位置付けています。

この中で医療介護の分野については、次世代ヘルスケア産業の創出支援、医療の国際展開とともに、国民の利便性の向上の観点から、セキュリティの確保を徹底しつつ医療等分野でのICT化を推進することを重要な施策の一つとし、次の4項目について具体的な取り組みを進めるとしています。

### ①マイナンバー制度のインフラを活用した医療等分野における番号制度の導入

マイナンバー制度がスタートするのを契機に、そのインフラを活用して医療等分野における番号制を導入し、2020年までの本格的運用を目指す。

このため具体的制度設計や個人情報取扱いルールについて本年度末までに一定の結論を得る。

### ②医療等分野でのデータのデジタル化・標準化／地域医療情報連携等の促進

医療等分野でのデータの電子化・標準化により検査、治療、投薬等の診療情報の収集・利活用を促進するため、地域医療情報連携ネットワークの全国普及を実現するとともに、2020年度までに地域医療の中核を担う病院での電子カルテの普及率を90%まで引き上げる。

また、電子版お薬手帳の機能性向上について更なる検討を行い、地域医療情報連携ネットワークの全国普及と併せて国民への普及を進める。

### ③医療介護政策へのデータの一層の活用

更なる健康長寿社会の実現を目指して、データに基づく保健指導など保険者機能の強化、データベース分析を活用した医療介護の質向上・費用の適正化など、医療介護データの政策的活用を飛躍的に推進するため、2020年を目標に、国等が保有する医療当分野の関連データベースについて、患者データの連携を実現するための基盤整備を進める。

### ④民間ヘルスケアビジネス等による医療等分野のデータ利活用の環境整備

医療・健康情報の特性や取扱い等に配慮した上で、民間事業者、研究機関等による利活用を可能とする環境整備を図り、ヘルスケア産業の活性化につなげる。

こうした医療等分野でのICTの活用がより進むことにより、国民の利便性に大きく寄与するとともに医療の質が一層向上するものと期待されます。